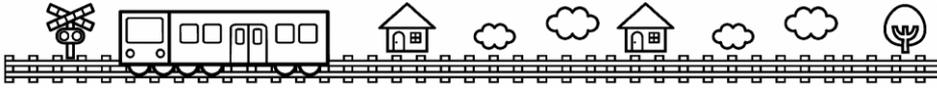




# 尾久二だより

令和3年1月29日  
荒川区立尾久第二幼稚園  
園長 高橋 美香



## 何度もチャレンジ

主任教諭 種田 保子

1月は寒い日も多くありましたが、登園すると園庭に出て元気に遊ぶ姿がたくさん見られました。子供たちは寒さを知らないのでしょうか!!先日は、園庭で氷を見つけて大興奮でした。

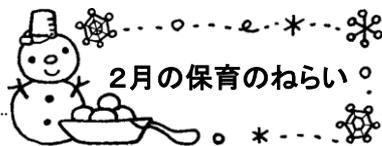
緊急事態宣言が発令され、昔遊びの会が中止となりました。親子で昔遊びを楽しんだり、獅子舞を見たりなど、日本の伝統文化に触れながら楽しく過ごす時間が無くなってしまったのはとても残念でした。

行事は中止になってしまいましたが、幼稚園では、保育の中で昔遊びを楽しむ姿がたくさんみられています。コマ、けん玉、お手玉、竹馬、縄跳びなどは、繰り返し挑戦する遊びであり、手先を器用に使ったり、体をうまく動かしたりします。かるたや、すごろくは、遊びを通して文字や数字にふれながら関心を高められます。昔遊びは、挑戦し、集中して取り組む遊びでもあり、人のと関わり・ふれあいも十分にあり、子供たちにとって、経験させたいことばかりです。皆さんはこの中で得意なものがありましたか?私は子供の頃、竹馬が得意でしたが、コマ回しやけん玉ができませんでした。けれども年長組の担任時代に何度も何日も挑戦し、コマ回しとけん玉の大皿ができるようになりました!その時に周りにいた子供たちが一緒に喜んでくれて、本当に嬉しくてみんなに知らせて回ったことを覚えています。

3学期のこの時期、友達関係も深まり、いろいろなことをやってみようと思える時期だからこそ、挑戦する遊びが子供たちにとって魅力的な遊びなのです。そして、周りに励まし・認めてくれる人がいるからこそ、意欲が増すのでしょうか。

今、いるか組の部屋の前では、竹馬や縄跳びに挑戦する姿がよくみられます。また、部屋では、コマ、けん玉、あやとりなどに挑戦しています。以前だったら、途中で諦めてしまう姿も多かったけれど今では何度も繰り返し、友達と励まし・喜び合っています。もうすぐ小学生ですものね。大きな成長を感じます。そして、その姿にりす組、うさぎ組も、あこがれを抱き、お兄さんお姉さんになろうとしています。子供たちの就学・進級に向けて気持ちを高め、期待がもてるよう援助していきたいと思っています。

残りの3学期の園生活の日数を数えたら、なんと、いるか組32日、りす組・うさぎ組35日でした。早いですね…。今後も残りの行事や活動を、実施可能な形を工夫しながら、子供たちに経験させたいことを一番に、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。



うさぎ組



りす組



いるか組

- 自分なりにイメージをもって、教師や学級の友達と一緒に楽器遊びや表現遊びを楽しむ
- 自分でできることにすすんで取り組み、できた喜びを感じる

- いろいろな活動の中で、自分の力を十分に発揮する楽しさを味わう
- 思いきり体を動かして遊んだり、季節の行事を楽しんだりする
- 年長になることに期待をもちながら、遊びや生活を意欲的に進めていく

- 自分たちで遊びや生活を進めていく充実感を味わう
- いろいろな友達によさに気付き、認め合いながら遊ぶことを楽しむ
- 修了に向けて、自分の成長を感じて自信をもつ